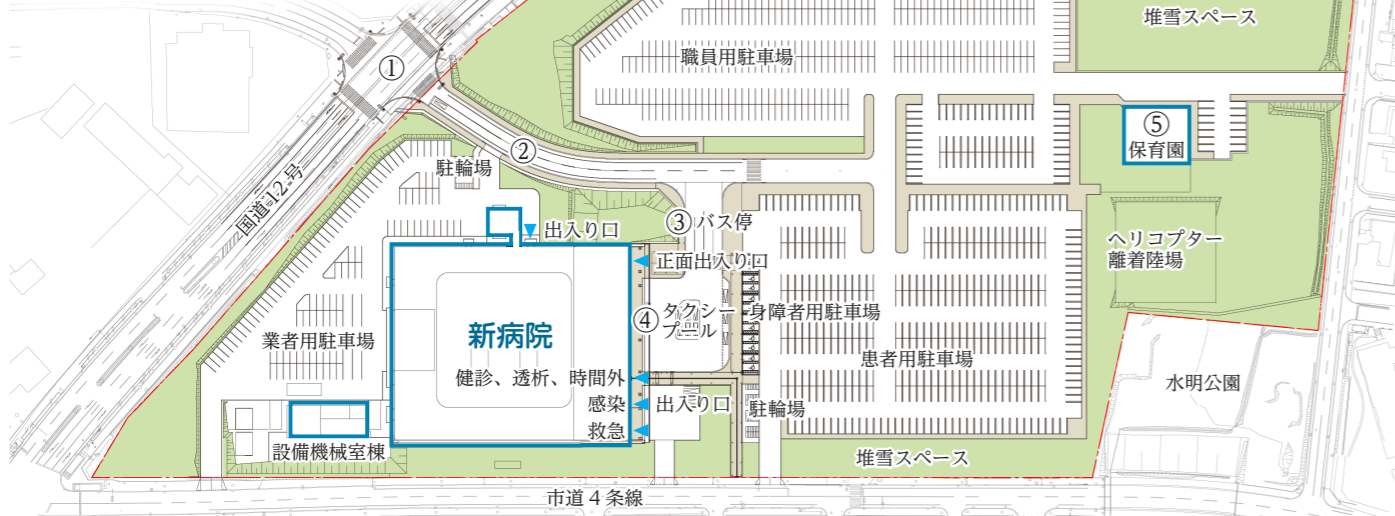


## 敷地内の配置計画

- ① 国道 12 号からのメイン出入りに交差点を計画
- ② メイン動線の傾斜路にロードヒーティングを敷設
- ③ 正面出入口近くにバス停を設置
- ④ 雪や雨でも利用しやすい屋根付きの一般車両乗降スペース
- ⑤ 職員の動線と周辺環境に配慮した院内保育園



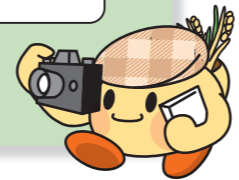
## 新病院のフロア構成

8階	展望が良い最上階に全室個室の緩和ケア病棟 20 床のほか、病棟への配膳効率を考慮し、患者給食を調理する厨房を配置します
7階 6階 5階	個室を基本とする一般病棟フロアとし、6階の一部に SCU（脳卒中集中治療室）6 床、7階の一部に感染症病床 4 床を配置します
4階	外来診療・作業療法・デイケアなどを行う精神医療センターと、精神病棟を配置します
3階	4 人部屋を基本とする回復期リハビリテーション病棟と、個室を基本とする小児・周産期病棟を配置します
2階	外来・病棟の双方からのアクセスを考慮し、リハビリ部門と透析部門を配置するほか、救急からの動線に配慮した位置に手術室、HCU（高度治療室）を配置します
1階	さまざまな相談窓口となる総合支援センターや外来診療機能を集約し、分かりやすい配置とするほか、救急部門を配置します
地下1階	業者・職員駐車場からの出入りや物品の搬出入を想定し、薬剤や医療材料などの供給部門のほか、化学療法や放射線治療といったがん診療機能を集約配置します

## いわみ記者が行く！現場レポート



杭打ち工事が終わり、建物の土台となる基礎工事を行っています。今年は地下1階部分、来年は1階から8階までが立ち上がる予定です



## 病院統合を経て新病院へ

市立総合病院は、4月に北海道中央労災病院と統合しました。統合により、医師や看護師などの医療スタッフや医療機器などを集約し、経営の基盤を強化したことで、人口減少や物価高騰といった厳しい経営環境下でも、経営を安定させ、新病院につなげられるように取り組んでいます。新病院は、令和10年秋の開院を目指して昨年11月に着工し、現在建設工事が進められています。今月は、新病院の全体像や新たな機能、工事の進捗状況をお知らせします。  
問合先 市立総合病院新病院整備室（9西7） ☎ 22-1650

新病院の外観イメージ（国道12号側から見た新病院）



新病院建設に関する最新情報は、市立総合病院ホームページをご覧ください



POINT

新病院は、3月に閉院した北海道中央労災病院の敷地に建設しています。地上8階、地下1階の建物で、大きな地震が起きても建物と患者や職員の安全を守り、診療機能を維持できるよう「免震構造」を採用しています。

## 新病院の基本情報

- 建設地 4条東16丁目1-1ほか（旧北海道中央労災病院用地）
- 敷地面積 77,334.31㎡
- 診療科 27科（予定）
- 病床数 358床
- 建築面積 約7,900㎡
- 延床面積 約33,900㎡
- 最高の高さ 43.40m
- 階数 地上8階／地下1階
- 構造 RC+S造一部SRC造（免震構造）
- 駐車場 約900台
- 駐輪場 約100台

病床数	
一般病床	306床
急性期一般病棟	230床
HCU（高度治療室）	12床
SCU（脳卒中集中治療室）	6床
緩和ケア病棟	20床
回復期リハビリテーション病棟	38床
精神病床	48床
感染症病床	4床
合計	358床

診療科（予定）		
総合診療科	内科	呼吸器内科
循環器内科	消化器内科	糖尿病内科
腎臓内科	緩和ケア内科	小児科
外科	血管外科	透析外科
乳腺外科	整形外科	産婦人科
耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科
精神科	麻酔科	脳神経外科
皮膚科	放射線診断科	放射線治療科
リハビリテーション科	病理診断科	歯科口腔外科

持続的な地域医療を確保するために